

社団法人 日本経営士会 千葉県会 会報

EMC 千葉

Ever
Management
Consultant
Chiba

発行 (社)日本経営士会 千葉支部 <http://keieishi-chiba.org/>
 支部長 鶴岡義明 〒275-0001 習志野市東習志野3丁目11-15
 編集 事務局 副支部長 鈴木伸一

平成20年11月30日発行

第80号

11月に入り急に寒さが厳しくなりました。今年も残すところ後1ヶ月です。北京オリンピックや、食の安全を脅かす話題が多かった2008年も終わろうとしています。あわただしい中ですが、ご案内の懇親会にぜひ参加しませんか。

懇親会のご案内

懇親会開催のお知らせ

今年最後の懇親会です。いろいろあった2008年、寒さを吹き飛ばし今年一年を振り返り楽しく語り合ひましょう。

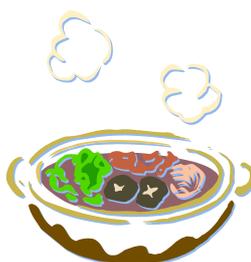
みなさんの参加をぜひお待ちしております。

日時：平成20年12月13日(土) 18:00より

場所：居酒屋 天狗 047-424-6781

船橋市本町4丁目1-15 快美壺番館2階

会費：3,000円



申込先：別途案内はお送りしません。 12月10日までに、鈴木伸一 会員 Tel : 090-247-5078 Fax: 04-7133-1303まで、最終面の申込書でお申し込みください。(メールでも結構です) 多数のご参加をお待ちしております。

1 2 月 度 研 修 会 ご 案 内

日 時 平成 20 年 12 月 13 日(土) 15:00 ~ 17:30

場 所 船橋市中央公民館 第4集会室

テーマ 「千葉支部年末特別フォーラム パネルディスカッション」

1. 基調講演 千葉支部支部長 鶴岡義明 「再生！千葉支部」

2. パネルディスカッション

パネラー

原 弘行 (日本経営士会前本部理事)

鶴岡義明 (日本経営士会千葉支部支部長)

西村 豊 (日本経営士会千葉支部副支部長)

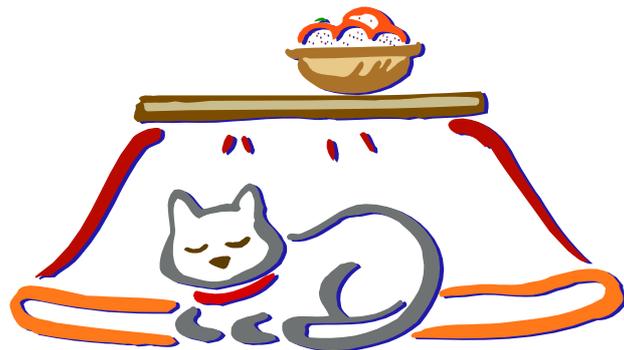
伊東美千代 (日本経営士会千葉支部役員)

コーディネーター

大河内國治 (日本経営士会千葉支部副支部長)

12月度の月例研修会は、本年度から千葉支部へ組織変更された中、新しい千葉支部を模索するための公開パネルディスカッションを行います。会員の皆さんの意見もぜひ支部の運営に取り込みたいと考えておりますので、積極的に意見をいただきたいと思います。

支部本年最後の月例研修会。終了後には年末恒例の懇親会(別途ご案内)も予定しております。万障お繰り合わせの上多数ご参席賜ります様ご案内申し上げます。



記事ご協力をお願い

記事、投稿をお待ちしております。ご協力お願いいただける方は広報担当 鈴木までお送りください。

TEL: 090-544 62808 FAX: 04-7133-1303

MAIL: shin_suzuki@nifty.com

会議・研究会開催報告

運営委員会

第3回運営委員会

平成20年7月26日(土) 12:30～15:00

場 所 船橋市 中央公民館

参加者 鶴岡義明、西村 豊、大河内 国治、鈴木伸一、山田 一、大塚亜喜雄、林 久雄、阿部俊一、
佐藤昭保、藤江隆平、若月英司、保科秀雄

1. 北関東圏3支部合同企画 公開研修会について
2. M P P実施予定について
3. 関係団体への挨拶結果について
4. 千葉県経営者協会紹介による研修計画について
5. その他
 - 1) 千葉県の介護の第三者評価について
 - 2) パソナとの協力について
 - 3) 全国研の報告
 - 4) HP の件について

第4回運営委員会

平成20年8月23日(土) 12:30～15:00

場 所 船橋市 中央公民館

参加者 鶴岡義明、鈴木伸一、西村 豊、大河内国治、伊東美千代、山田 一、林 久雄、阿部俊一、
大塚亜紀雄、藤江隆平、保科秀雄

1. 報告事項
 - ・北関東圏3支部合同企画 公開研修会
 - ・北関東支部 MPP
 - ・千葉支部 MPP 運営委員の件
 - ・本部動向
2. 千葉商工会議所 支援策検討について
3. 研修委員会の開催について
4. 会員への連絡体制について
5. その他
 - 1) 新潟三支部合同フォーラムの件

第5回運営委員会

平成20年9月13日(土) 15:00~18:00

場 所 船橋市 中央公民館

参加者 鶴岡義明、鈴木伸一、西村 豊、大河内国治、佐藤昭保、阿部俊一、大塚亜喜雄、山田 一、
伊東美千代、林 久雄、中嶋清介、小塚彦明、藤江隆平

1. 千葉大学柏の葉キャンパス「環境健康フィールド科学センター」見学会開催について
2. 研修委員会の開催について
3. その他
 - 1) 中小企業総合展参加メンバー選出の件
 - 2) MPP 研修会の件
 - 3) 北関東3支部フォーラムの件
 - 4) 船橋商工会議所訪問報告(ジョブカード制度)

第6回運営委員会

平成20年10月25日(土) 12:30~15:00

場 所 船橋市 中央公民館

参加者 鶴岡義明、西村 豊、大河内国治、鈴木伸一、山田 一、佐藤昭保、林 久雄、阿部俊一、中嶋清介、
藤江隆平

1. 全国支部長会議報告
2. 中小企業総合展示会への参加について
3. 支部MPPの開催について
4. 全国研への参加について
5. その他
 - 1) 千葉支部会員10月1日時点 106名
 - 2) 福井電化工場見学会参加者の件
 - 3) 12月のパネルディスカッションの参加者の件
 - 4) 21日付け本部ニュース 中小企業の資金繰りの支援策
 - 5) 千葉レップの会の報告

第7回運営委員会

平成20年11月22日(土) 13:15~14:15

場 所 福井電化工業

参加者 鶴岡義明、西村 豊、大河内国治、山田 一、林 久雄、阿部俊一、藤江隆平、若月英司、
伊東美千代

1. 各新研究会立ち上げ状況の確認
2. その他

月例研修会

7月度月例研修会

平成 20 年 7 月 26 日(土) 15:00 ~ 17:00

場 所 船橋市 中央公民館

テーマ ソーシャルベンチャーのパイオニア

講 師 村田早耶香 氏 (N P O 法人かものはしプロジェクト共同代表)

参加者 阿部俊一、宇賀田登茂夫、大河内國治、大塚 亜喜雄、河井成夫、佐藤昭保、佐藤光生、鈴木建郎、鈴木伸一、鶴岡義明、西村豊、林久雄、山田一、若月英司

千葉支部設立後初めての試みとして「オープン講座：ソーシャルベンチャーのパイオニア」と題し、千葉支部、阿部俊一会員のご紹介で N P O 法人かものはしプロジェクト共同代表の村田早耶香さんをお招きし、社会貢献事業の最前線ともいえる、カンボジアの子供たちを強制的な商業的性的搾取から救い、全ての子供たちが未来への希望を持って生きられる世界を作る活動をおこなっているという話を聞かせていただきました。

1. かものはしプロジェクトの団体概要

団体名 特定非営利活動法人かものはしプロジェクト

沿 革 2002 年 7 月発足 2004 年 8 月カンボジア事務所開設 2004 年 9 月特定非営利活動 (N P O) 法人格の取得

事業内容 コミュニティファクトリー事業：シエムリアップ州の農村にて、農民に仕事を提供することで子どもを児童買春の被害から守る、ファクトリーを運営。

PC スクール事業：プノンペンにて孤児院の子ども達に PC スクールを提供

IT 事業：日本にて WEB 制作を行っています。大企業から発注を受けています。

サポーター事業：楽しく国際協力に 参加できる、サポーター制度です。

2. 共同代表の村田早耶香さんご紹介

2004 年フェリス女学院大学国際交流学部卒業。在学中 (2001 年) 第二回子どもの商業的性的搾取に反対する世界会議若者代表。2003 年、世界銀行主催 Youth Development and Peace に日本の若者代表として参加。日経ウーマン「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2006」リーダーシップ部門を史上最年少で受賞。2006 年度日本青年会議所人間力大賞、参議院議長奨励賞受賞。NPO 法人ソーシャル・イノベーション・ジャパン、フェロー。「児童買春という悲劇を無くしたい。世界の子供たちが笑って暮らせる世界を創りたい」と、かものはしを創業。

3. 講演会の実施

共同代表の村田早耶香さん、青木健太さん、本木恵介さんが、「カンボジアの貧困問題・児童買春問題」「社会を変える起業」をテーマに講演を行っております。講演料は活動資金に活用させて頂いております。

お問合せは〒150-0045 東京都渋谷区神泉町 21-1 永田ビル 2 F TEL/FAX 03-5454-3082

8 月度月例研修会

平成 20 年 8 月 23 日(土) 15:00 ~ 17:00

場 所 船橋市 中央公民館

テーマ 古武道継承発展のための道場経営

講 師：山田 一(円心) 会員

参加者 阿部俊一、大河内國治、大塚亜喜雄、佐藤光生、鈴木伸一、鶴岡義明、西村 豊、原 弘行、
林 久雄

本年 5 月 10 日、新生千葉支部誕生の記念すべき総会の懇親会席上で、真剣による見事な居合いぬきを演じて頂きました。山田一さん。別名「円心」と名乗り、古武道をこよなく愛する団塊世代です。その山田さんが、古武道を継承発展のための道場経営ノウハウを披露してくれました。

< 山田さんの武道暦 >

天心竜拳法五段

九鬼神流棒術二段

無雙直伝英信流兵法七段

武士道は鎌倉時代以降、多くの日本人の行動基準、道徳基準として機能してきた。この中には、慈愛、誠実、忍耐、正義、勇気、惻隠などが盛り込まれている。惻隠とは他人の不幸への敏感さである。それに加え、「名誉」と「恥」の意識もある。名誉は命よりも重い。この武士道精神が、長年、日本の道徳の中核をなしてきた。 出典：「国家の品格」藤原正彦著 新潮新書

武道が果たす社会的責任

武道は礼に始まって礼で終わると言われている。

「礼」とは他人と自分との間の距離（間合）を認識することから始まる自律の心得である。

武道による人間形成とは、ただ「豊かな心を持ってと要求することではない。「間合」「位取り」などの武道の心得を日常生活に置き換える要領を教えることである。

人としての実力の養成が武道教育で可能だとしたら、これ以上のものはない。

会社経営に通じる「無限塾」の教え

無限塾道場 経営理念

日本古来の武術・茶の湯などの諸芸と長い年月を経て培われた伝統の叡智とを学ぶことを通して、自己の健全なる心身を陶冶し、社会に貢献できうる人材・人物を育成することを修養目的とする。

無限塾では道場の規則として「規」と「則」に分けて各々 3 つを挙げて塾生に指導を行っている。

三規「礼を正し」「場を浄め」「時を守る」 三則「敬天」「愛人」「克己」

塾長 / 庵主 池田 健一郎 〒260-0813 千葉市中央区生実町 1 8 8 2 - 1



9 月度月例研修会

平成 20 年 9 月 27 日(土) 14:00 ~ 16:30

場 所 千葉大学 柏の葉キャンパス

テーマ 「観光研究会の提案」

講 師：天野 洋 教授（千葉大学環境健康フィールド科学センター長）

古在豊樹 千葉大学教授

参加者 阿部俊一、伊東美千代、宇賀田登茂夫、大河内國治、小塚彦明、佐藤光生、清水 進、鈴木伸一、

西村 豊、林 久雄、藤江隆平、山田 一、五十嵐昭平（東京支部）、大島 建（東京支部）

日本経営士会千葉支部は、「千葉県に軸足を置いた社会貢献活動」を模索している中、平成 20 年 9 月 27 日（土）千葉大学古在豊樹教授（前千葉大学学長）のご好意、並びに千葉支部小塚会員のご協力により柏の葉キャンパスの「環境健康フィールド科学センター」を見学する機会を得ました。当日は、14 名の参加者がありましたが、参加したいけれども都合によりどうしても出席できないとご連絡を頂いた方々も多くありました。

当センターは、東京秋葉原と茨城県つくば市を結ぶ、つくばエクスプレス（9 月 24 日で開業 3 年を迎えた）「柏の葉キャンパス駅」の西側、駅から徒歩で約 5 分のところにあり、設立は 2003 年（平成 15 年）4 月、農学系の園芸学部附属農場、医学系、薬学系、看護系、教育学部などの研究者が集まり新しい波を起こそうと設立されたもので、まさに千葉大学の総力を結集した地域密着型の環境健康科学研究施設であると言えます。

このキャンパスでは、「食」と「健康」がテーマとなっており両者を抱合する「環境」を人間生活の中に関連付け、全体との関連性を認め合いながら各々のコンポーネントを研究していくというのが特色であるといわれております。主な取組を以下に紹介いたします。

1. ケミレス・タウンプロジェクト

シックハウス症候群や化学物質による健康影響を解決する為、研究施設と診療施設を連携させたユニークなプロジェクト。

2. 漢方・鍼灸の柏の葉診療所、柏の葉鍼灸院

一人ひとりの体質に合わせて全体のバランスを改善する漢方治療を中心に、自然と調和した医療を実践。

3. 閉鎖型植物生産システムの研究

光を透さない断熱パネルなどの構造物の中で、蛍光灯などの人工光源を用いて植物を生産するシステム。省資源で環境にやさしい園芸植物の生産が実現出来る。

など、この他にもいくつかの研究取組や事業が行われております。

中でも驚いたのは、「閉鎖型植物生産システム」でした。当日ご案内頂いた古在教授が長年の育苗技術研究の中で開発された同システムが、「苗テラス」という商品名で、東京の東日本橋にある太陽興行株式会社農業ハイテク部で販売されているということでした。この商品の特徴は、1. 天候や季節に左右されない苗生産

2. 最高の苗質と本圃での高い生産性

3. 規格苗の低コスト・省スペース計画生産

4. 無農薬育苗で環境にやさしい

5. 温度・光・水管理を自動化して簡単作業

というもので、これまでの農業のイメージが大きく覆されるものでした。

見学終了後、部屋に戻り天野センター長からまとめのご講和を頂いた際、参加者の皆さんからは積極的な質問が飛び出し、大いに盛り上がった半日でした。特に、この見学を通じて、これから千葉支部の取組

テーマとして考えている、「農業」「食」「観光」のイメージがおぼろげではありますが、つながって来たということは、自分自身にとって収穫であったと思います。参加者の皆様におかれましても、当初の目的であった「何かを掴む」ことについては、各々得るものがあったと確信しております。最後に、この見学会実施にあたりご協力頂きました皆様に感謝の意を表します。



センター 管理研究棟前



住建メーカー寄附によるケミレストウン



農業実習作業棟の育苗施設



広い附属農場を歩く

10 月度月例研修会

平成 20 年 10 月 25 日(土) 15:00 ~ 17:00

場 所 船橋市 中央公民館

テーマ ジョブカード制度研究会

講 師 阿部俊一 会員

参加者 大河内國治、佐藤昭保、千葉道生、鶴岡義明、西村 豊、林 久雄、藤江隆平、松浦尚二、
山田 一、竹田良平（共同通信社経済部記者）

ジョブカード制度とは、国の新しい雇用対策として打ち出した施策で、正社員経験が少ない求職者などがキャリアコンサルタントの支援を受けて職務経歴や職業訓練歴、取得資格などの情報をまとめて「ジョブカード」に記載することで、自らの職業能力を客観的、具体的に提示し、求人企業とのマッチングを計るものである。

一方、企業側ではこの求職者との雇用契約のなかで、OJT、OFF-JTを組み合わせた教育訓練を行う。企業はこの制度を利用することで自社に必要な有能な人材が確保できると同時に、教育訓練でかかった経費の一部を国から助成金として受け取ることが出来る。

この制度は 2008 年度より厚生労働省が「成長力底上げ戦略」として打ち出した施策であるが、半年経過した今の世間評は「低調な船出」といったイメージが強いようである。今回マスコミ（共同通信社）が千葉支部のホームページを見て、取材の申し込みがあり、研究会に出席して頂いた結果、11月1日に記事が掲載された。

千葉支部としては、社会貢献活動のひとつとしてこの制度の普及に参画し、千葉県の産業を支える幅広い人材育成に貢献できればと考え、今回有志にお集まりいただき、意見交換を行った。

ジョブカード制度に関しては、制度自体は大変すばらしい内容であるが、ひとつには「PR 不足」ということが挙げられる。これは求職者側にとっても、企業側にとっても言えることで、雇用・能力開発機構及び、商工会議所の今後さらなる活動を期待するしかない。千葉支部としては、「千葉県に軸足を置いた社会貢献活動」の一環として、この制度も視野においた「就業支援研究会」なるものを立上げ、団塊シニア、大企業OB、子育てを終えた主婦等をターゲットとしたもう少し幅広い視野での活動を考える会を目指し、今後の活動を検討して行きたいと考える。

11 月度月例研修会

平成 20 年 11 月 22 日(土) 14:00 ~ 16:00

場 所 福井電化工業株式会社

テーマ

講 師 福井電化工業株式会社 代表取締役社長 福井順子 氏

参加者 阿部俊一、五十島正修（東京支部）、伊東美千代、岩野邦久、稲村和彦、大河内國治、近江堅一、大島 健（東京支部）、鶴岡義明、轟 一三（東京支部）、西村 豊、林 久雄、藤江隆平、山田 一、若月英司

秋晴れの好天に恵まれ、千葉縣市川市千鳥町に日本経営士会千葉支部の有志が集まった。今回は東京支部からも 3 名の会員参加があった。支部初めての試みとして実施した地元企業への訪問相談会。社長講演、社内（工場）見学を行ったあと、参加メンバーは社長を囲んでコンサルタントとして御自身の専門の立場から、質問や問題提起、アドバイスなどを行おうというものだ。

【企業概要】

企業名：福井電化工業株式会社：電気メッキ工業（電子部品、ボタン、金属バット、ゴルフシャフト等）

代表者：福井順子、所在地：千葉縣市川市千鳥町 11 番地 電話：047-396-2331 FAX：047-396-2338

創業：大正 13 年 11 月、設立：昭和 22 年 5 月、資本金：5,320 万円、従業員：65 名、売上高：9 億 7 千万円（07 年 9 月期）、決算期：9 月 20 日（年 1 回） 取引銀行：三菱 UFJ 銀行 行徳支店

2001 年 3 月 品質マネジメントシステム（ISO9001）認証取得

2004 年 2 月 環境マネジメントシステム（ISO14001）認証取得

メッキ加工の老舗である同社は、高度成長期、金属ゴルフシャフト加工の大量生産で成長を遂げた。しかしバブル崩壊で当時 10 億あった売上が半減する経営危機に陥り、顧客の要望にきめ細かく対応する多品種少量生産に方針転換、技術面に強いベテラン人材に頼らず、若い人材を積極的に採用し業務の変革を行うことで見事に再生した。そして現在、ボタン事業部、新製品事業部、スポーツ用品事業部の 3 つの柱が共存し、

全社一丸となった新しい分野での技術開発と経営効率化で、安定的で着実な成長を実現されている。顧客重視の方針の中では、「クレーム自体を減らすことは大事なことはあるが、むしろクレーム対策の数を増やすことを目標に掲げ、いかにきっちりとした対策が取れるか」という部分に目を向けたことで、結果的にクレームそのものを減らすことが出来た」という。

ISO9000、14001 の取得で品質・環境面では、コスト管理、業務効率化、職場環境改善などトップダウンではなく、社員の自主的な取組で実現出来ているところに感激した。印象的であったのは「良いところはマネしよう」という「パクリ委員会」、他社を見学して良いと思ったところは社員自らの意志でどんどん取り入れるようにし、効果を挙げた事例には「ベストパクリ賞」として社長から表彰されるなど、確実に社員のモチベーションにつながっていると言えるところである。「見える化」という環境整備方針においても、工場内は整理整頓が行き届き、あらゆるところに貼られたポスターやPOP等で情報の共有化が計られた職場であったし、何より社員の皆さんの元気な挨拶や職場の明るい雰囲気、心地よく感じたのは私だけではなかったと思う。見学終了後、社長を囲む懇談会では、積極的な質問やアドバイス等もあり、大変有意義な時間を頂いたことに対し、福井社長を始めとする社員の皆様に御礼申し上げます。



福井社長の実行宣言



工場内の見学

コンサルティング研究会

第5回

平成20年8月16日(土) 15:30~18:00

場 所 千葉市生涯学習センター

テーマ 地域中小企業の経営改善支援セミナー開催について

参加者 近江堅一、河井成夫、林 堯夫、大久保 篤、若月英司

1. 中小企業経営改善セミナーでの講演内容の検討
2. セミナー開催案内書の見直し
3. セミナー開催に関する千葉・市原両商工会議所との打ち合わせについて

第6回

平成 20 年 8 月 30 日(土) 15:30~18:00 場 所 千葉市生涯学習センター

テーマ 地域中小企業の経営改善支援セミナー開催について

参加者 近江堅一、河井成夫、林 堯夫、大久保 篤、若月英司

1. 地域中小企業の経営改善支援セミナーでの講演内容の再検討
2. セミナーの開催案内書の見直し
3. セミナーの開催に関する千葉・市原両商工会議所との打ち合わせについて

第7回

平成 20 年 9 月 21 日(土) 10:00~12:00 場 所 千葉市生涯学習センター

テーマ 地域中小企業の経営改善支援セミナー開催について

参加者 近江堅一、鶴岡義明、岩野邦久、林 堯夫、大久保 篤、若月英司

1. 「地域中小企業の経営改善支援セミナー」開催に関する千葉商工会議所との打合せ結果と対応検討
2. 「地域中小企業の経営改善支援セミナー」での講演内容の検討

第8回

平成 20 年 10 月 5 日(日) 15:30~18:00 場 所 千葉市生涯学習センター

テーマ サブテーマの内容検討とセミナー開催準備

参加者 近江堅一、林 堯夫、大久保 篤、河井成夫、岩野邦久、若月英司

1. 千葉両商工会議所との経営改善セミナー開催に関する打合せ結果報告
2. セミナー講演内容の検討並びにセミナー準備

第9回

平成 20 年 11 月 2 日(日) 15:30~18:00 場 所 千葉市生涯学習センター

テーマ 市原商工会議所セミナーの反省と千葉商工会議所セミナー開催準備

参加者 近江堅一、林 堯夫、宇賀田登茂男、大久保 篤、河井成夫、鶴岡義明、岩野邦久、若月英司

1. 中小メーカーを活性化させる TMS (Total Management System) 総合管理システム
2. 市原商工会議所「中小企業経営改善セミナー」結果の反省と千葉商工会議所「中小企業経営改善セミナー」への改善フィードバック
3. 千葉商工会議所「中小企業経営改善セミナー」の準備



寄稿：定年後の人生・日本経営士会に感謝！

千葉支部 No.1549 宇賀田登茂男

1. 現役中51歳定年後何になる？

「定年57歳」真剣に考えたのが51歳の秋、代々木の経営労働協会「経営コンサルタント」養成講座。これに応募したのが、定年に近い数人。同じ目的での研修なので、会社退社後、土曜日、良くまとまり現役のノウハウを活かして論文を書いた。私は(社)日本能率協会の第31回金沢大会、「これからの中高年対策と賃金」と題して提出をした。

第32回大分大会 手作りの企業内教育訓練の一考察

第33回札幌大会 意識改革を目指す職場づくりの一考察

この審査に当たった人が(社)日本経営士会人事部(当時 故)進藤一先生、3年連続入賞発表となり、これが縁で経営士会入会の動機となった。

正式な入会の手続きを行い入会した。千代田生命保険相互会社の定年は昭和57年5月30日、人事部会入会、専門職は人事労務関係、教育訓練関係。

入会間もないが、時代の流れは「ロボットと人事管理」と題してのプロジェクトリーダーを命ぜられ、先輩諸先生方の協力を得て取りまとめ、先生の指導よろしく当時の広報誌「月刊経営士」に掲載された。

以降経営士会活動は千葉県会を中心に運営委員、総務、副会長、北関東支部副支部長、会長となり、特に第29回全国研究会議千葉大会(北関東支部)では、実質的な実行委員として100余人を動員し、盛会裡に終了した功績は大きい。

この結果、県会の結束、まとまりにつながる大変革である。会員の目的意識に関する全面的な協力に対し感謝している。

2. 仕事人生・天職に巡り合う

1項の活動と並行して、会長が秋葉先生のと看、昭和58年4月1日付け学校法人千葉情報経理専門学校非常勤講師の話があり、新設の病院事務科、標準報酬請求事務、健康保険法、共済組合法、病院管理事務の授業担当。平成8年度同校成田国際福祉専門学校に病院事務科を移し転校、病院会計、2000年の介護保険法と通産24年目の2005年3月に退職した。

これと同時期昭和59年4月1日、千葉県職業安定課(労働省)から、(同課が新聞で民間人のアドバイザー募集との記事を見て履歴書を送付していた)県庁に来るように連絡があり、訪問してその日のうちに外郭団体である千葉県雇用開発協会を紹介され事務局長と面接、即採用となった。アドバイザーの業務は、昭和60年「定年60歳の義務化」に伴い、企業を訪問し就業規則の変更、退職金・賃金問題の助言を行った。千葉県下各社を協会の指示により訪問した。当初は招かざる客として受け入れられなかったが、「定年60歳の義務化」が実施され、その後65歳前半層の雇用延長・再延長と時代の流れで企画・立案があり、現在も継続中と変化して、県下各社延べ1,000社以上訪問、19年間委嘱継続し、平成15年3月委嘱解除、退職した。

これらに平行して経営士活動は、本部の倫理委員会委員長、環境衛生プロジェクトメンバー、病院・診療所関係プロジェクトメンバーとして課題研究を行い発表した。こうした活動の重複を避けるための調整、MPP 研修会、月例研修会等の継続と忙しい人生の連続である。非常に満足している。

(著書発刊)

病院管理(学校の教材として)	自主出版
達成感を育てる人事評定	2001年4月15日 碧天舎発刊
介護保険テキスト(これだけは覚えよう)	2002年4月20日 碧天舎発刊

3. 福祉サービス業務・千葉も具体化へ

東京はモデルとしてどこよりも早くスタートしている。東京で研修を受けた人もいる。これら情報を受けて2005年千葉県も実施するとの動きに合わせ、条件は必ず法人であることだったので、千葉県健康保険福祉部と相談、指定調査機関になるための手続きについて経営士会本部と連絡を取り合いながら、本部・支部の定款変更千葉県は千葉県会として、千葉支部長は別組織を指名して申請する。

千葉県福祉サービス指定調査機関 千葉県指令第67号の9 認証

事務局 原 弘行

情報公開調査員 登録者名

原 弘行 佐藤昭保 河井成夫 宇加田登茂男 榎田国男 松浦尚司 小島和久

2006年4月よりスタート、県下160件割当て県の指導課訪問先指定。基本情報、調査情報(用紙指定)業務内容は指定用紙に基づく確認作業で事前にパソコンによる用紙を相手方に送付、あり、なしの回答を受けて訪問日、時間等を事業所側に合わせ、2人1組で訪問する。千葉県を二区分して4人2組。80件、事務局はこの調整が大変である。

事業所に着いて挨拶、内容について書類、記載事項、確認して作業は終了。これを持ち帰り県の指導課に送付し、公表低手数料印紙は月末に県庁に持参する事になっている。これの繰り返しで2007年度、二年間は割り当てに近い件数を達成した。

2008年度160件、調査手数料、公表手数料印紙の変更があり、目下手配中で訪問は9月以降になる。

これと合わせ第三者評価調査員の研修、事業所申し出等必要で、予算編成など事業所が選ぶ対応である。定年後26年も業務につける幸せ者、日本経営士会に心から感謝している。経営士会の仲間、有り難う。何時までも仕事人で居られる幸せをつくづく味わう今日この頃である。感謝。有り難う。

健康が一番大切 「老化」は遅らせることが出来る。

寄稿：仕事と趣味（65歳以上からの生き方）

スズキ経営 代表 鈴木達之

名刺には仕事の内容と趣味を記載すること。1日24時間の中で、仕事と趣味（含むボランティア等）を考えて行動し社会との接点を考える。

1. 仕事（プロ意識）について

私は67歳ですが、現在取締役1社、監査役5社、顧問先2社、産業能率大学の講師等と年金収入で生活を営んでいます。

プロとして仕事を続けるには、条件としてイ.向上心、ロ.専門性（技術）ハ.ヤル気、ニ.複眼思考、ホ.逆境への対応、ヘ.遊びの精神、ト.国際感覚、チ.人間性等ですが、私の基本的なスタンスは3S（サービス精神、誠実、スピード）の一体化を行動の基準とすることで、今があることを確信しています。

2. 趣味について

内容はさまざまですが、個人的なもの（囲碁、マージャン、音楽鑑賞、読書、ソバ打ち、陶芸等）と集団でするもの（ゴルフ、釣り、テニス、山登り、写真、絵等）とインドア（囲碁、マージャン、音楽鑑賞、読書、ソバ打ち、陶芸等）に分かれると思います。

私自身の趣味としては、(1).囲碁（柏囲碁愛好会所属 200名以上が登録）(2).舞台俳優（あびこ舞台所属 5年目）(3).朗読劇...最近では耳なし芳一、杜子春、邪魔っけに出演(4).相撲甚句（月2回 牛久相撲甚句会所属）(5).城山三郎文学作品研究（131冊読破）等をしていますが、前提は健康であることと、多少のお金はかかりますが、知り合いがふえることが一番楽しいことです。

仕事と趣味を兼ねることによって人生を送るうではありませんか。

寄稿：「見えるか？ その意味と重大性」を考察する

No. 2954 鈴木健郎

はじめ、あらゆる機会に論じられている。その意味するものはなにか。論じてみたい。以下に考察する。「情報化の進展が意味するものは何か、それが齎すものは何か」に、これは深く関係している。

情報は「作り伝える」というサイクルで廻り経営で言えばマネジメントとして、デジタルコンテンツとして、セキュリティを含め経営体の管理のツールに組み込まれている。そして経営活動が最適化された形をとり、維持コストの削減と付加価値の向上に利する形をとり情報システムとして機能して人々の意識の中に常に蓄えられ人々に伝え合うという、人々のコミュニケーションに活かされてゆく結合体になる。そこに「それがよく見えるか」が実は重大な意味を持つ。そこで「それがどのように良く見えるか」が大きな意味を持つ。

この「見えるか」は情報化以前から経営活動の要の存在として重視されてきた訳で、情報化で脚光をあびているが、人と人の関係の基本的要素として重視されてきた訳で、所謂、情報伝達・会議・人々の会話等、コミュニケーションとして重視されてきた事が情報化それもスピードの早まる中で、一層その機能が重視されてきたとも云える。そこで情報化の重要点を「見えるか」の視点から注目してみたい。

1、組織の重要情報はどのように組織全体に伝えられているか、上下階層間・部門間・その手段は何をどう用いているか。それらの手段は果たして「良く従業員や関係者に理解されているか・見えているか：よく理解されているか解からない」とかの事項はあるか？

2、情報は見えただけでは何にもならない。良く理解される・共通認識を高める、或いは、互いの行動にプラスして、人々の行動を変革させるエネルギーになっているか。

3、人々の行動にプラスして、互いの行動を変えてゆく・変革させる気づきのキッカケとなり、仕事に創意工夫を引き起こすエネルギーになっているか等、これ等は多分に会社のビジョンや経営理念と活動方針等に左右される場合が多い。

4、従来から組織と人間関係には、平たくいえば、「ホーレンソー」がよく機能しているか、が論じられ、所謂、報告・連絡・相談

の3つの要素が人間関係に充分機能しているか重視されて来た、所謂マネジメントの発揮が重要とされてきている。

5、情報システム化の進展するなかで、今、この「情報を良く人に丁寧に伝える」がおろそかになっていないか？、或いは省略する

スポイルして、関係者に伝わらない。「ITがあるから、それでよい」等、特に中間管理職層に伝わらないという現象が全国的に、かなり生じているという。

6、この現象は企業のみに限らず、役所や学校・はじめとして、世間のあらゆる集団組織に見られる現象として、マスコミはじめ世の識者が指摘する重要課題になっている。政府の「年金不明問題」はその最たるものである。

7、経営コンサルタント団体はこのような現象を正す役割を担っているが、自らの組織自体にもこのような現象を持つ団体が多くみられ憂慮される状況にある。本部の運営情報が全国の会員には殆ど伝わらない、伝達手段が用意されていない。

会の機関紙にも、その報道欄が無い、等の異常な状況が続いている。

「良く見えるか」の日本企業における原点は「トヨタのカイゼン：その実践例：カンバンとアンドン」に注目したい。

「何がよく見えるかは、何を誰にどう伝えるか、なにを関係者によく伝えるか」であり、人間性の本質に係る課題であろうと思う。

研修、研究会実施のお知らせ

月例研修会のご案内

1 月度

日 時 平成 2 1 年 1 月 2 4 日(土) 1 5 : 0 0 ~ 1 7 : 3 0

場 所 船橋中央公民館 第 9 集会室

テーマ 千葉支部コンサルティング研究会活動報告会

講 師 若月英司 会員 他

独自のコンサルティング先の開拓を鋭意的に進めているコンサルティング研究会の 3 つの事例を発表いただきます。実際のコンサルティングにどのように取り込んでいくのか、興味が有る方はぜひご参加ください。

2 月度

日 時 平成 2 1 年 2 月 2 1 日(土) 1 5 : 0 0 ~ 1 7 : 3 0

場 所 千葉市花見川区犢橋町 1122-1

テーマ 株式会社アキテック 企業訪問

11 月の福井電化工業に引き続き、千葉県下の企業アキテックを訪問いたします。企業の実際を知るためにも、直接経営者の考えに触れられる企業訪問です。この機会にどうぞご参加ください。

詳細につきましては決定し次第、メール、ホームページ等で連絡をいたします。

3 月度

日 時 平成 2 1 年 3 月 2 8 日(土) 時間未定

テーマ・講師・場所 未定(決定し次第ホームページにて掲載いたします)

月例研修会 / 懇親会(12 月) 出席連絡

(社)日本経営士会 千葉県会

総務担当 鈴木伸一 宛

Tel : 0 9 0 - 2 4 7 - 5 0 7 8

会員氏名 _____

Fax : 0 4 - 7 1 3 3 - 1 3 0 3

出席ご希望の方は 1 2 月 1 0 日までにご連絡願います。

出席を次の通り連絡します。(該当欄に出席は○印、欠席は×印をご記入下さい。)

	研修会 / 講演会	懇 親 会
平成 20 年 1 2 月 1 3 日 出席	参加・不参加	参加・不参加
月例 / 懇親会		

会場などの急な変更は県会ホームページにてお知らせしています。各研修会に出席する際は、ホームページをご確認の上ご来場ください。 千葉県会ホームページ <http://www.keieishi-chiba.org/>